

2011 年 10 月 3 日

学生各位

広域科学科
学務委員長 開一夫

「外国語論文講読Ⅰ・Ⅲ」の履修申込・登録について

別紙『講義内容一覧』にある科目の履修を希望する学生は、以下の要領で
履修**申込・登録**を行ってください。

開講曜限・教室が一覧に記載されていないものについては、申込締切後、
掲示または担当教員よりメールで連絡します。

記

- 1) 履修**申込** 申込用紙に学籍番号・氏名・所属・連絡先等を記載

申込締切：10 月 7 日（金）16：00

申込場所：広域科学科事務室（15 号館 107 号室）

- 2) 開講曜限の決定 担当教員と受講希望者で相談の上開講曜限を決定

連絡方法：履修申込をした学生に対し、掲示または担当教員からメー
ルで連絡する

- 3) 履修**登録** 通常の科目登録と同様

UTask-web 登録期間：文科生 … 10 月 14 日（金）～17 日（月）

理科学 … 10 月 18 日（火）～20 日（木）

UT-mate 登録期間：学部 3・4 年生 … 10 月 17 日（月）～21 日（金）

講義内容一覧

2011年度冬学期 広域科学科

担当教員	科目番号・科目名	講義内容	曜限 教室
金井 崇	学部 (4学期) 08610735 外国語論文講読Ⅰ	＜授業の目標・概要＞ 外国語の書籍および外国語の研究論文を材料にして輪講を行う。 ＜教科書＞＜参考書＞ 開講時に指示する。 ＜関連ホームページ＞ http://graphics.c.u-tokyo.ac.jp/	火曜6限 15-409 (予定)
	学部 (6学期) 08610753 外国語論文講読Ⅲ		
山口 泰	学部 (4学期) 08610733 外国語論文講読Ⅰ	＜授業の目標・概要＞ 人間の視覚情報処理や計算機による画像・形状処理に関する英文の教科書ないし参考書を輪読する。 ＜教科書＞ 講読対象の文献については、初回に参加者の意見を聞きながら決定する。 たとえば、以下の書籍などを考えている。 Marc Ebner: Color Constancy, John Wiley & Sons Inc, 2007 (ISBN 9780470058299) John P Frisby, James V Stone: Seeing 2nd ed., MIT Press, 2010 (ISBN 9780262514279)	火曜5限 15-409 (予定)
	学部 (6学期) 08610752 外国語論文講読Ⅲ		
山口 和紀	学部 (4学期) 08610731 外国語論文講読Ⅰ	＜授業の目標・概要＞ 英語の文献を読みこなす能力を身につけるとともに、文献の内容も理解する。 ＜授業情報＞ データベース、情報システム、ウェブ、シミュレーション、教育、知識発見などに関する論文誌の論文を読む。 ＜授業計画＞ 初回に割り当てを行い、2回目以降は輪講形式で進める。 ＜履修上の注意＞ 発表者以外も読んでくることが原則である。準備の時間を確保しておくこと。 ＜関連ホームページ＞ http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~yamaguch/	
	学部 (6学期) 0861075 外国語論文講読Ⅲ		
山口 和紀 金子 知適	学部 (4学期) 08610732 外国語論文講読Ⅰ	＜授業の目標・概要＞ 英語の文献を読みこなす能力を身につけるとともに、文献の内容も理解する。 ＜授業計画＞ 初回に割り当てを行い、2回目以降は輪講形式で進める。 ＜履修上の注意＞ 発表者以外も読んでくることが原則である。準備の時間を確保しておくこと。 ＜関連ホームページ＞ http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~yamaguch/	
	学部 (6学期) 08610751 外国語論文講読Ⅲ		
中村 政隆	学部 (4学期) 08610734 外国語論文講読Ⅰ	＜授業の目標・概要＞ 情報科学と組合せ最適化の理論で中心的な役割を果たす NP-完全性とNP-完全問題について学ぶ。 ＜授業情報＞ Garey and Johnson, Computers and Intractability: A Guide to the Theory of NP-completeness, 1979, Freeman. を講読及び輪読する。 ＜授業計画＞ 1, 2, 3章を読み、できれば続いて5章を読む。	
	学部 (6学期) 08610754 外国語論文講読Ⅲ		
増原 英彦	学部 (4学期) 08610736 外国語論文講読Ⅰ	＜授業の目標・概要＞ Felleisenら著の「How to Design Classes」を教科書として(1)プログラミングの基本的な方法のうち、特にオブジェクト指向プログラミングに焦点を当てたものを学ぶ、(2)科学技術分野の英文を読む能力を高める。 「How to Design Classes」は、名著「How to Design Programs」を書いたチームによる、オブジェクト指向プログラミングを設計するための新しい教科書である。「How to Design Programs」はデザイン・レシピという独特の手法と豊富な練習問題によって高校生から大学初年度向けのプログラミングの入門教育の流れを変える評価を得ている。本書はデザイン・レシピの手法を用いつつ、オブジェクト指向プログラムの設計を学ぶものとして注目を集めている。 これまで多くあったオブジェクト指向設計方法論が「すでに頭の中に設計されたデータ構造とアルゴリズムをどのようにオブジェクトとして表わすか」という部分だけを論じていたのに対し、本書は「与えられた問題を解くために、どのようにしてデータ構造やアルゴリズムを設計するか」という点を重視し、練習問題を豊富に用意することで学習しやすいものになっている。 プログラムは書けるけどオブジェクト指向プログラムを作る方法が分からない人や、プログラミング教育に興味がある人は是非参加してほしい。 ＜授業の方法＞ 参加者はそれぞれ教科書を読み、その内容を理解する。輪講では章・節ごとに担当者を決め、担当者を教師として理解を確認する。本教科書の方針に従い、練習問題を解くことに重点を置く。 本科目は学部生に開講されるものだが、大学院生が数名参加し、分担あるいは援助をする予定である。 ＜教科書＞ “How to Design Classes: Data Structure and Organization”, Matthias Felleisen, Matthew Flatt, Robert Bruce Findler, Kathryn E. Gray, Shriram Krishnamurthi, and Viera K. Proulx http://www.ccs.neu.edu/home/matthias/htdc.html (出版前のため、著者が公開している草稿をダウンロードして講読することになる。) ＜履修上の注意＞ 半年程度のプログラミングに関する授業等を履修しているか、それと同程度のプログラミング能力があることが望ましい。 ＜その他＞ 月曜日第3限に開講する予定だが、参加者の希望が多い場合は他の時間への変更も考える。 参加希望でかつ時間の都合が悪い場合には事前に相談のこと。	月曜3限 (予定)
	学部 (6学期) 08610755 外国語論文講読Ⅲ		